

「自分で考える」絶好の機会！

神石小学校長 田丸 栄

5月の連休が明け、昼間は夏のように暑く感じられる日も多くなってきました。そのような中、子供達は21日(日)の運動会に向けて、自分のもてる力を発揮できるようにするために目標をもって努力しているところです。

さて、その運動会に向けて、4月から「静かに集まる」ことに少しずつ取り組んできました。「静かに集まる」ことは、「何をするために集まっているのか」「集まったらどのようにして待つのか」を自分で考える習慣が身に付いていないと、なかなかできるものではありません。しかし、運動会の練習や下校指導・朝会での指導を繰り返すうちに、「自分で考える」子供達が増えてきて、運動会の全校練習では、私が思っていた以上に、静かに、そして、よい姿勢で整列する児童が多くなってきました。

一方、次のような場面もありました。トランペット鼓隊の並び方を図で示したものを各学級に配り、それを見てから集合場所に集まるように指示していたところ、その図を見ていない子供が何人もいました。これは、「自分で考えて行動する」のではなく「だれかの指示や動きに委ねて動いている」ことの結果だと考えられます。

このような行動は、本校児童の課題だともいえます。だからこそ、「運動会」という行事をよい機会と捉えて、早めに指示を出し、「自分事としてとらえ」させるようにして、「自分で考えて動く」習慣を児童には身に付けさせていきたいと思っています。「自分で考えて」行動した時の子供の姿は、とても「カッコいい」ですね。そのカッコよさを、運動会ではお見せできるものと思います。保護者・地域の皆様には、ぜひ、そんな「カッコいい神石っ子」の姿を見て、応援をお願いしたいと思います。何卒、よろしくお願いいたします。